

弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

校内弁論大会！

6月11日(木)に校内弁論大会が行われ、各学年の代表が全校生徒の前で見事な弁論を披露しました。代表者は多様なテーマで思いのこもった弁論を行い、聴衆もそれぞれのテーマについて考えるきっかけを得ている様子でした。



代表者による弁論の様子

人権意識を高めました！

6月18日(木)に人権ホームルームが行われ、1年生は「よい人間関係」、2年生は「部

落差別の歴史」、3年生は「就職差別」について学びました。どの学年も積極的に授業に参加しており、実りの多い時間になりました。



2年生の様子

主権者としての自覚芽生える！

6月23日(火)に主権者教育が行われ、模擬選挙や模擬請願をととして、選挙について学ぶことができ、弓削高生は主権者としての一歩を踏み出しました。



模擬投票を行う3年生

島親募集！

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します

連絡先 ☎ 77-2021
弓削高校 教頭 渡邊



かみじま郷土話 2

前回は、私が学生の頃、弓削島へ来て庄園について学習した話をしました。中世の弓削島は、「塩の庄園」として塩を東寺に貢納していたことで有名ですが、石清水八幡宮の庄園であった生名島や岩城島、佐島もまた同様に、石清水八幡宮へ塩を納める「塩の庄園」でした。岩城島に伝わる和歌には、「いよの海岸木の島は我なれや あふことからき 塩の身ぞ焼く」とあり、古くから盛んに塩づくりが行われていたことがわかります。現在も、製塩作業に使用した道具や、作業を撮影し

曾根 大地
教育課

「塩の庄園」生名島・岩城島・佐島

た写真などを大切に保管されている方も上島町におられます。

塩づくりは、弓削島では明治時代に終わりを告げたのに対し、生名島・岩城島では、昭和46年まで続けられました。歴史の調査を進めると、生名島や岩城島では、海岸近くに広がる塩田の風景を覚えている方や、実際に塩づくりの作業に関わっていた方がおり、お話を聞くことができます。上島町では、現在すべての塩田が廃止されて失われてしまいましたが、この町に住まわ



生名島での製塩作業の様子(昭和29年)

る方々の記憶には、まだ町の歴史を知る手掛かりが多く残されていると感じました。

「庄園」の漢字について

現在の教科書などでは、一般に「荘園」の漢字が使用されますが、古文書などでは「庄園」の漢字が使用されています。



製塩作業経験者による製塩体験風景(弓削島鎌田塩田での体験会)

弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>

サンタマリア(スペイン)



コロンブスがアメリカ大陸を発見した時に乗っていた船が「サンタマリア」です。スペインのカタロニア海岸の「サンシモン教会」で数百年間天井に吊るされていたという15世紀中頃の帆船模型が「サンタマリア」の元となっています。この古い模型から大きさを推定し1963年にレプリカ船が作られました。

■全長 23.5m ■全幅 7.29m
■喫水 2.1m ■トン数 120t
■帆装形式 3本マストのキャラップ船

カティサーク(イギリス)



この船は19世紀にイギリスで作られた船で、当時ロンドンの貴族間で流行していた中国のお茶を選ぶことに専用に作られた帆船です。お茶の風味を落とさないことを考え、非常に高速力が出せる船として建造されました。当時、中国ーロンドン間は18ヶ月かかっていたのを122日で走っています。現在はロンドンのグリニッジに保存されています。

■全長 86.0m ■全幅 11.0m
■喫水 7.0m ■トン数 936Gt
■帆装形式 3本マストのフルリグド・シップ型

海王丸(日本)



帆船「海王丸」は日本が世界に誇る大型帆船として昭和5年に建造されました。船名の由来は「日本の海の王者たれ」という期待を込めたものです。昭和2年3月、鹿児島商船水産学校の練習船「霧島丸」が宮城県金華山沖で暴風雨のため沈没し乗組員、生徒53名全員が死亡するという事件が発端となり、大型の練習帆船の建造が決定されました。

■全長 97.0m ■全幅 13.0m
■喫水 9.0m ■トン数 2238.4Gt
■帆装形式 4本マストのパーゴ型

ぜひ帆船模型を見学にお越しください
今年度末まで図書館入口に展示中！

島おこし協力隊活動報告

こんにちは。ゆめしま未来塾の中裏です。梅雨も明け、暑さが厳しくなってきました。コロナウィルス感染対策の自粛も緩和され、日常がようやく戻ってきたように思います。



ゆめしま未来塾も6月から運営再開となり、いつもどおりに運営ができるようになりました。4月からは新しい講師が2名加わり、新しい風が吹いているゆめしま未来塾。おかげさまで多くの新入生が入塾してくれました！現在、塾生数は全校生徒の約7割。講師陣は嬉しい悲鳴をあげながらも学校

「どんどん変化する生徒たち」

の先生方と手を取りながら生徒たちの指導に努めております！



さて、最近のゆめしま未来塾とは言いますと、今年度から生徒たちの目標別に指導環境を分けて指導しています。教え合いが活発な学校教室と集中して自立学習ができる第2教室(旧弓削高校校長官舎)。学年も関係なく全学年がそれぞれの教室で勉強しており、後輩は先輩たちの勉強する姿勢を見て1年後2年後の自分たちの姿を想像しているようです。そんな中で先輩が何かに向かって懸命に活動している姿を見る機会が増えた

弓削高校生たちはどんどん変化をしてきています。文化祭を自分たちで運営してみたいと声をあげたり、コロナ禍の中でも多くの人に笑顔になってもらいたいと活動したり。自粛期間が続いてしまったため、なかなか思うように活動できていないものもありますが、それでも今できることを一つずつ自分たちで考え行動しています。どんな環境や暑さにも負けない熱い気持ちを持った生徒たちを今年もしっかりとフォローし伴走していきたいと思います。今年のゆめしま未来塾も何卒よろしく願います。

中裏 修平
島おこし協力隊